

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-115
補助事業名 平成22年度 貿易・投資円滑化等経済交流促進補助事業
補助事業者名 一般財団法人 貿易研修センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地域の情勢について最新情報の収集・分析を行うとともに、我が国通商政策の課題抽出を行うため、研究会、講演会やシンポジウムを実施する。

諸外国のオピニオンリーダー、若手有望指導者、要人、または教育者を招聘し、意見交換等を通じて諸外国との円滑な経済関係の維持・発展に努める。

日本の経済・産業分野の専門家及びビジネスリーダーを海外に派遣し、企業視察、ビジネス交流会等を実施し、現地情報、市場ニーズを調査するとともに、日本の貿易・投資環境について広報する。

さらに、在京外交官を対象に、我が国の地域経済・産業への理解を深めてもらい、帰国後の貿易・投資誘致活動促進を目的として、地方視察（インダストリアルツアー）を実施する。

プログラム終了後、我が国の最新情報を提供し、上記事業の参加者・関係者をもとにしたネットワークを構築・運営し、対外諸国との相互交流の維持・発展を図る。

以上の事業展開により、諸外国との良好な経済関係の発展を図り、貿易・投資の円滑化を推進し、もって我が国機械工業の振興に貢献する。

(2) 実施内容

① 研究会・講演会

ア [IISTアジア講演会](#)

平成22年度のアジア講演会では、東京での講演会を8回、地方で開催する特別講演会を2回実施。ベトナムやカンボジアの経済動向、国際金融危機と中国経済、日系企業に対するインド、中国への進出の取組方法とその課題、等について、国内外の専門家が講演した。



イ [IISTアジア研究会](#)

平成22年度のアジア研究会では、「東アジア経済統合、周辺国の経済深化」をテーマに、非公開の研究会を4回実施し、同分野の専門家による研究発表を実施した。研究会の成果は、一般参加者を集めた公開シンポジウムにおいて発表された。



ウ [IIST中央ユーラシア調査会](#)

平成22年度の中央ユーラシア調査会では、非公開の研究会を7回実施し、中央アジア各国の政治情勢や、石油・天然ガスの開発情勢、等について、国内の専門家が研究発表を行った。一般参加者を集めた公開シンポジウムでは、「CIS諸国における大統領制と議会民主制の可能性」をテーマに講演が行われた。



エ [IIST国際情勢研究会](#)

平成22年度の国際情勢研究会では、非公開の研究会を5回実施し、「中国政治と日中関係の動向」、「金融危機後の米国経済」等について、国内の専門家によって研究発表が行われた。また、一般参加者を集めた公開シンポジウムでは、中国の政治外交の新情勢等について、講演を行った。



② 招聘事業

ア [オピニオンリーダー招聘－第39回「リーダーシッププログラム」](#)

平成22年9月に開催した同プログラムでは、9カ国（チリ、中国、フランス、ギリシャ、ハンガリー、イタリア、ポルトガル、シンガポール、英国）から9名のオピニオンリーダーを招聘し、「日本の少子高齢化社会への産業界の対応」をテーマに、医療・介護・高齢者・子育てに関する講義や、東京、関西の関係企業訪問を実施した。



イ [アジア若手有望指導者招聘－第4回「CLMV若手有望指導者招聘」](#)

平成22年11月～12月に開催した同プログラムでは、CLMV（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム）から各3名、計12名の若手指導者を招聘し、「企業誘致」をテーマに、我が国の行政機関による企業誘致の取り組みの紹介や、東京、関西の中小企業や工業団地の訪問を実施した。



ウ [要人招聘](#)

平成22年度の要人招聘事業では、スイスより世界貿易機関 (WTO) 事務次長を招聘し、現下の通商問題における日本の立場について理解を深めていただくことを目的として、日本の通商問題専門家やWTO交渉関係省庁幹部との意見交換や、京都、和歌山で地方視察を実施した。



エ [国際エドゥケーター招聘ーIEJプログラム2010](#)

平成22年6月～7月に実施した同プログラムでは、米国から30名、カナダから2名、ベルギーから2名、オランダから1名、計31名の公立小中学校教員を招聘し、我が国の文化と社会に関する講義、学校訪問、企業視察、文化体験、地方視察等を、東京、愛知、奈良、広島、京都で実施した。



③ [派遣事業](#)

平成22年度は、11月に、小型車の輸出拠点として注目されるタイ・インドに調査団を派遣し、エコカーの輸出拠点としての両国の現状や、現地進出メーカー及び現地部品サプライヤーの動向等について調査を実施した。また、1月に、ベトナム及びカンボジアに専門家を派遣し、日本の中小企業金融システムについての理解促進を目的とする「中小企業金融セミナー」を開催した。



④ [インダストリアルツアー](#)

ア [在日外交官交流](#)

平成22年度は、5月に岐阜県、1月に徳島県において、同県の産業・経済および投資環境への理解を深めるため、在日外交官を対象に、現地の企業訪問・産業見学、地元経済界との意見交換、文化施設見学等を行うインダストリアルツアーを実施した。



⑤ 情報提供事業

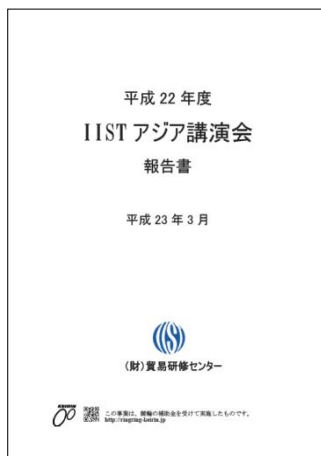
海外の我が国政治経済状況や通商政策、機械工業に対する認識の更新、正しい理解とその深化に貢献するため、事業参加者、関係者をもとにした「IISTワールドフォーラム」と称するネットワークの登録者約2,100名に対し、毎月1回、我が国の経済産業政策等に関連する諸情報を「IISTメールマガジン」の名称で提供した。

2 予想される事業実施効果

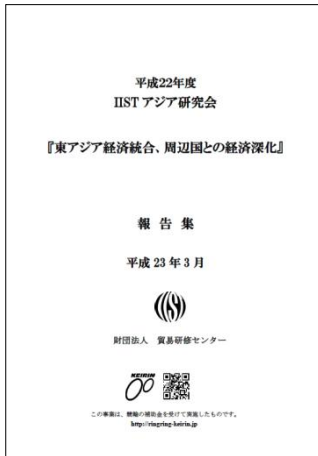
本事業では、研究会・講演会を通じて、委員の提言が政策立案に反映されることにより、我が国の円滑な経済活動の進化と機械工業の発展への一助となる。また、海外のオピニオンリーダーや若手有望指導者、教育者を招聘し、我が国の政治、経済、社会、文化の最新情報を学習するほか、特定の分野に知見のある要人を招聘し、当該分野における日本の取り組みを紹介し、帰国後、日本理解者として活躍してもらうことにより、これら諸国と日本との円滑な経済関係の維持・発展に寄与する。更に、我が国の諸事情に関し深い知見を有した学者、専門家、ビジネスリーダー等を海外へ直接派遣し、現下の日本経済・産業の状況を、迅速かつ的確に海外の多くの人に直接発信することにより、草の根的な対日理解の促進を図るとともに、企業関係者との面談を通じて、我が国と当該国との新たな経済交流ニーズの発掘を図る。インダストリアルツアーでは、参加者が帰国後、訪問した地域への投資誘致サポートが行われることが期待されており、我が国の地域経済理解促進ひいては地域経済活性化を目指す。また、本事業の過去の参加者・関係者に対するフォローアップとして、現下の我が国の政治・経済・通商政策に関する情報を海外へ提供することにより、知日派、親日派の継続的育成に役立つものと期待される。以上の展開を通じて貿易・投資の円滑化が推進され、もって機械工業の振興に寄与する。

3 本事業により作成した印刷物等

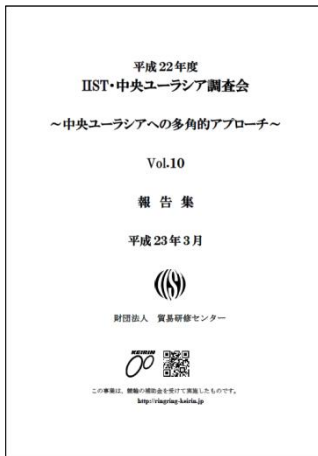
① 平成22年度IISTアジア講演会報告書



② 平成22年度IISTアジア研究会「東アジア経済統合、周辺国との経済深化」報告集



③ 平成22年度IIST・中央ユーラシア調査会～中央ユーラシアへの多角的アプローチ～
Vol. 10報告集



④ 平成22年度IIST国際情勢研究会報告集



⑤ 第39回「リーダーシッププログラム」実施報告書



⑥ 平成22年度アジア若手有望指導者招聘事業「第4回CLMV若手有望指導者招聘」事業報告書



⑦ 平成22年度要人招聘事業実施報告書



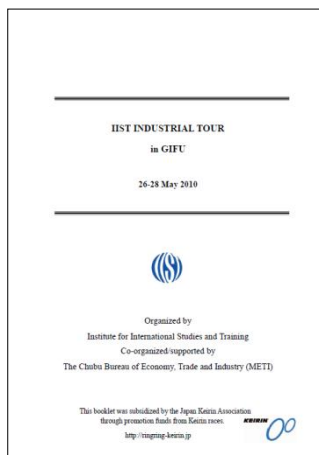
⑧ IEJ Program 2010 国際教育者招聘プログラム報告書



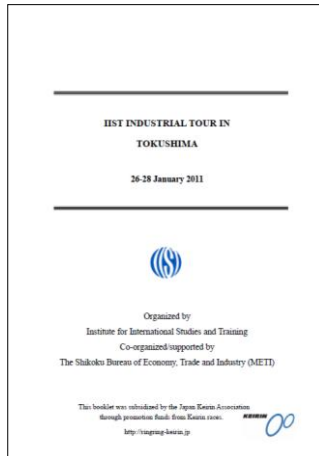
⑨ 平成22年度貿易・投資円滑化等経済交流促進補助事業「派遣事業」実施報告書



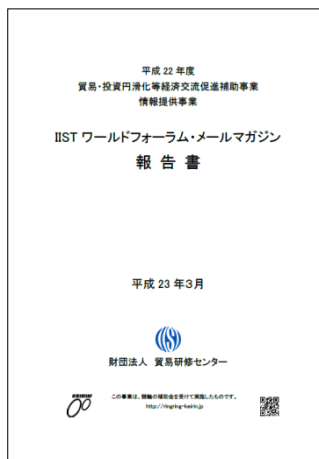
⑩ IIST INDUSTRIAL TOUR in GIFU



⑪ IIST INDUSTRIAL TOUR IN TOKUSHIMA



⑫ 平成 22 年度貿易・投資円滑化等経済交流促進補助事業情報提供事業 IIST
ワールドフォーラム・メールマガジン報告書



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人貿易研修センター（ボウエキケンシュウセンター）

住所： 105-0092

東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館2階

代表者： 理事長 塚本 弘（ツカモト ヒロシ）

担当部署： 総務・企画調査広報部（ソウム・キカクチョウサコウホウブ）

担当者名： 豊嶋 玲子（トヨシマ レイコ）

電話番号： 03-3503-6621

F A X : 03-3501-0550

E-mail : toyoshima@iist.or.jp

URL : <http://www.iist.or.jp>